

第282号・2022年4月13日 (水)
発行・東北大学職員組合書記局
〒980-8577 仙台市青葉区片平二丁目1-1
内線 片平 (91) 5029
022-227-8888 (TEL)
022-227-0671 (FAX)
編集・コア編集委員会



***コロナ禍、円安、物価高...
ボーナスカット NO!
*ロシア・プーチン政権
は、ウクライナ侵略を
やめろ!**



農学研究科水産資源生産学教授

歓迎のメッセージ

安心して楽しく働くための職場をつくる

執行委員長 片山知史さん

今春に新しく東北大学の教職員として着任された皆さんに心より歓迎のメッセージを述べます。

東北大学には教職員で作る職員組合があります。私たちの身分を守り、待遇を改善するために日々活動しています。

では、何故私たちが組合を組織しているのでしょうか。

まず、私たちの働き方や待遇は、大学が一

方的に決めるのではなく、教職員の意見を聞く必要があります。特に不利益な変更については、職員組合との協議を経なければなりません。組合は職場のルールを決め、職場を良くする重要な組織なのです。

一方、私たち労働者は、雇われの身であり弱い立場です。そして孤独になりがちです。皆さんご存知のように、東北大学では2018年春に非正規職員の大規模な止めが行われ、その後も雇止めや解雇が続いています。

ぜひ皆さん、職場の仲間とスクラムを組んで安心して楽しく

全大教春季・新歓期合同地区別 単組代表者会議 (東北・九州合同) 不利益遡及は許さない

2月20日、オンラインで全大教2022年度春季・新歓期合同地区別単組代表者会議(東北・九州合同)が開催されました。

まず情勢報告として、「2022年度の国立大学関連予算」「大学改革の動向」「大学ファンド」の内容が報告されました。

運営費交付金予算は、1兆786億円で前年度比4億円減にとどまっています。また大学ファンドや国際卓越研究大学といった一連の動きは、相変わらずの「選択と集中」路線であり、全大教は「政府による「大学ファンド」「世界と伍する研究大学」の検討に関する見解(2022年1月25日)を発表しています。※

各大学からの報告では、私からは「訴訟の結審予定」「雇止めと解雇の状況」「研究特例10年雇止め問題」を報告し、特に10年雇止め問題に全国規模で取り組む必要性を訴えました。他大学からは、休暇制度の改善、36協定の運用実態、ハラスメント問題の報告がありました。

2021年人事院勧告については、国家公務員が2022年6月に前年度の引き下げ分を期末手当で調整する見込みであることが報告され、各大学でも不利益遡及を許さない取り組みが必要であることが示されました。

【労働条件に関する全大教資料より】
国家公務員が法律改正により、
・期末手当を6月、12月期ともに1、275月から1、2月へ引き下げる
(▲0.075月)
・見送られた昨年12月の引下げに相当する額を、令和4年6月の期末手当から減額する
(▲0.15月)

という扱いになりました。
不利益不遡及は大原則ですので、この理念を当局がどう認識しているかどうかを問いたいと思います。



一連の争議において弁護団を牽引している野呂圭弁護士

3月23日(木)仙台 弁護士会館において、報告集会を開催しました。2018年6月に東北大学片平キャンパスで行った緊急報告集会「東北大学では、なぜ大量雇止めが生じたのか?」以来の開催です。2月28日に最終の書面での口頭弁論が行われ、訴訟が結審しました。

非正規職員の無期転換・大量雇止めに関する報告集会を開催しました。原告(組合員)と被告(東北大学)はどのような主張を展開したのか、また、裁判所はどのような論点に注目しているのか、弁護団から解説していただきました。

また、大量雇止め後も続く、東北大学における解雇や雇止めの実態と現場の声を基に、今後の取り組みを議論しました。

裁判において、原告(12年間務めた有期雇用職員、2018年3月に雇止め)の契約更新の合理的期待があったかどうか最大の論点

となり、原告は「無期転換権発生を回避するため」というような、客観的に合理的な理由を欠き、社会通念上相当地ない理由での雇止めは認められません。い



毎月2回屋宣伝を行っています

無期転換逃れの違法性を

今一度訴えよう

報告集会「非正規職員無期転換裁判最終尋問 係争3年間の論点と展望」

側の主張に理があるといえます。

6月27日午後には判決が出されます。

それまで黙って見ていたのではなく、無期転換逃れの違法性を今一度訴えて、社会の声として高めていく必要があります。

(片山 知史さん)

第93回メーデーのご案内

5月1日(日) 10時~

勾当台公園市民のひろば

※集会は短く、デモ行進はシュプレヒコールなし

厚生部より お得なご案内

東北労働金庫では「生活応援運動」「家計収支改善」

に取り組んでいます。

詳しくは東北労金にお問い合わせください。

東北労働金庫本店営業部

022-227-1310

教職員共済の紹介

* 総合共済 * 火災・自然災害共済 * 自動車共済

* 年金共済 * 団体生命共済・医療共済

* 新終身共済 * 交通災害共済 など

有期・短時間雇用の方も加入できます

第31回宮城はたらく女性のつどい

(2/23)

講師：上野千鶴子さん

(東京大学名誉教授)

痛快な講演

から解説されました。

「日本型雇用」は、

①終身雇用②年功序列給与体系③企業内組合の3点セットで、しかも岩盤であり、それに性差別の定義があることを述べ、「おっさん粘土層」を崩さなければ女性の職場環境は変わらない、と持論を展開されました。

そして紹介された著書「2億円と専業主婦」

の見出しにある「共働きでリッチに暮らすか？」「下級国民」予備軍になるか？100年生きてしまう時代、あなたはどちらを選びますか？

これにはドキッとするものがあり・・・2021年のジェンダーギャップ指数は、世界156ヶ国中110位。日本のジェンダー意識の低さをもっと国民は感じて学ばなければないと痛感しました。終始辛口でスカッとする講演会でした。

(多元研支部

後藤洋子さん)

しわ寄せは女性と若者

「女性がいきいきと自分らしく働くために」

のテーマで講演した上野千鶴子さんは女性学・ジェンダー論を研究する社会学者です。講演内容は、このコロナ禍で浮き彫りになった格差についてと、その格差が今始まったことではなく現政権が推し進めてきた構造改革の結果であり、この改革をすすめる政権を選んできたのは、まぎれもなく私たち国民であるという内容でした。

日本の女性の非正規率の高さ、オンライン化でにくい対人サービス就業率の高さについてふれ、もともと脆弱だったところにしわ寄せがきていることを

話されました。シング

ルマザーの窮状相談、DV相談件数が3割から5割増えている実態があると言います。コロナ禍で何が起きたのかきちんとした調査研究の必要を説かれました。

女性の地位は、国際ランキングで110位、構造改革で公務員が削減されたが仕事は減らないから非正規で対応、女性と若者は使い捨ての労働力のように扱われているのが日本の現実です。

生産の論理・効率の論理でなく、再生産(ケア)の論理・分配の論理が求められていると言われました。

今の不条理な社会をあらゆるデータを示してわかりやすく話され興味深く聴きました。

こんな社会にしたのは、私たちに責任があるというのは痛烈でした。著書も読み解きたい気がしました。

(編 ナカ)

国際女性デー第62回宮城県集会(3/8)

ジェンダー視点で憲法を

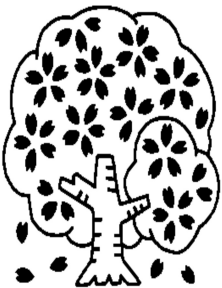
弁護士として離婚やDV問題を抱えるクラ イエントと向き合う太田啓子さんが、日々感じていたジェンダーの問題を憲法とのからみで講演した。

太田さんは子育てをする中で、性差別を無くすために公教育でジェンダー平等をすすめる必要性・重要性を感じていた。そして著書「これからの男の子たちへ」で、「男らしさ」の呪いから自由にいき

てほしい。また性差別構造の中では「男性」というマジョリティとしての特権を持っていることを自覚し、マジョリティとして性差別・性暴力に積極的に抗ってほしい。自分がマジョリティ側であるときほど、その問題が見えづ

(病院支部

千葉まさ子さん)



「なくしていいの？」 私たちの街の病院」 いのちをけなしてごまそう！

3/12
市民のつどい

3月12日に、反対運動が活発化している日赤病院・労災病院の移転問題を考える市民のつどいに参加してきた。

講演は東北福祉大学准教授の佐藤英仁氏。東北大学経済学研究科で、私たち職員組合の先輩である日野秀逸先生のもとで学んだという医療経済学の研究者。その研究者という立場で常にアンテナを張っている佐藤先生さえも知らなかったという。仙台赤十字病院と県立がんセンターを統合して名取市へ、仙台労災病院と、県立精神医療センターを合築して富谷市へという4病院の再編構想。知れば知るほど大きな問題だ。

表向きは、より高度な医療が提供できる体制の構築を目指すとか



いままじょう。あいつで閉会した。

(編 高)

必要な時に行くことができる、それが県立病院の役割であり赤字になるのは当たり前、赤字の解消・地域医療の充実の唯一の解決が統合ではないはず、トッポダウンでなくみんなで知恵を出し合って解決を考えよう、そのためには県はデータを出してほしい、という佐藤先生のお話だった。

県は一部の人たちだけで決めるのではなく、研究者も含めていろいろな立場の人と話し合っ

てほしいものである。富谷市にも名取市にも仙台市にも病院は必要だ。

「病院をなくしていいの？いいわけないでしょう。私たちは分断することなく、県内の医療体制をどう築いていくかを一緒に考えてい

う。」とのあいさつで閉会した。

(編 高)

読者のこゑ

地球はとり戻せるのだろうか。

(病院支部 Y/K)

今後の日程

5月1日(日)

第93回ミーデー

5月3日(火・祝)

5・3憲法集会

編集後記

コロナ感染数は、一向に減る様子をみせず病棟看護師の中にも感染者がでたり、濃厚接触者がでたりで、一時的に応援や、病棟縮小など対応が、目まぐるしく変化しています。

必死に今日の命を助けるために苦労している一方で、ロシアウクライナの戦争による、殺戮、人殺しが、行われていることは、まったくもって許せません。とにかく一刻も早く戦いを止める必要があります。いろいろな意味で混乱したなかの、コア編集となりました。

(編 中)